

たかおか

市議会 だより

新しい生活様式を日常に！

あなたとあなたの大切な人を守るために

CHANGE! ACTION & MIND

(行動・意識を変えよう)

「五月晴れの水道つつじ公園」(高岡“いいね”フォトコンテスト応募作品) 撮影：沖 昭夫

No.62 2月臨時会・3月定例会号
令和3年(2021年)5月1日発行

2月臨時会・3月定例会のあらまし	2P
議決結果一覧	4P
代表質問	5P
一般質問(一括質問・一括答弁)	6P
一般質問(一問一答)	10P
委員会の動き	12P

編集■広報広聴委員会

発行■高岡市議会

〒933-8601 高岡市広小路7-50

TEL 0766-20-1531

FAX 0766-20-1534

E-mail: gikai@city.takaoka.lg.jp



市議会ホームページから、過去の本会議の会議録の閲覧・検索ができます。
本会議録画映像をパソコンやスマートフォンなどでご覧になれます。

高岡市議会

Q 検索



令和3年度予算全会計

総額1314億6642万円を可決

代表・一般質問に16人が登壇

2月17日に臨時会を開き、市長から令和2年度一般会計補正予算をはじめ2議案が提出され、全ての議案を可決・承認しました。

3月定例会は1日に開会し、24日に閉会しました。

市長から令和3年度予算をはじめ82議案が、議員から2議案が提出され、全ての議案を可決・同意しました。

今定例会では、代表質問に1人会派、一般質問に15人の議員が登壇し、白熱した議論を展開しました。

可決・承認・同意した
主な議案等

《2月臨時会》

補正予算

一般会計

12億7175万円

国や県の補正予算を受け、そのうち新型コロナウイルス対策として、市として迅速な執行が必要な事業について、予算措置を講ずるもの。

《主な事業》

- ・新型コロナウイルスワクチン接種事業
11億6000万円
- ・ひとり親世帯生活支援給付金事業
3150万円

《3月定例会》

条例

市役所分庁舎の設置に関する条例及び総合行政センター設置条例の廃止

福岡総合行政センターの廃止に伴い、所要の改正を行うもの。

- (1) 市役所分庁舎の設置に関する条例の廃止
- (2) 総合行政センター設置条例の廃止
- (3) 防災行政無線施設条例の一部改正

・小・中・特別支援学校空調設備整備事業
7975万円

副市長定数条例の一部改正

副市長の定数を2人から1人に改正するもの。

印鑑条例の一部改正

新型コロナウイルス感染症対策及びマイナンバーカードの普及促進のため、多機能端末機での印鑑登録証明書交付に係る手数料を引き下げるもの。

(現行) 300円
(改正後) 200円

市民会館条例の廃止

市民会館を廃止するもの。

二上まなび交流館条例の廃止

二上まなび交流館を廃止するもの。

消防本部及び消防署の設置等に関する条例及び消防長及び消防署長の資格を定める条例の一部改正

水見市の消防事務の受託に伴い、所要の改正を行うもの。

(1) 消防本部及び消防署の設置等に関する条例の一部改正

・氷見消防署の追加

(2) 消防長及び消防署長の資格を定める条例の一部改正

・氷見市からの派遣職員に対する経過措置を追加

その他

工事請負契約の変更

(下伏間江福田線立体交差整備その3工事)

土質が当初想定と異なり仮設等に係る費用が増加したことに伴い、契約金額を変更するもの。

(変更前) 1億3530万円
(変更後) 1億6785万円

財産の譲与(建物)

漁村センターの建物を国分自治会へ譲与するもの。

所在 伏木国分字八幡577番地

面積 332.60㎡

財産の無償貸付(建物及び土地)

中山間地域の振興及び観光事業に利用することを目的として、とやま・ふくおか家族旅行村を北陸ミサワホーム株式会社へ無償で貸し付けるもの。

中山間地域の振興及び観光事業に利用することを目的として、とやま・ふくおか家族旅行村を北陸ミサワホーム株式会社へ無償で貸し付けるもの。



民間活力の活用 とやま・ふくおか家族旅行村

(1) 建物
施設名 ロッジ山ぼうし、スポーツ管理棟、雑

庫、ピクニカル広場

管理棟、葉草園内プレハブ小屋、ケビン、

森の学び舎

所在 福岡町五位字中野口

面積 57番地2外
2595.24㎡

(2) 土地
所在 福岡町五位字中野口

面積 57番地2外
145975.00㎡

指定管理者の指定

4頁の議決結果一覧表に記載の議案第48号及び議案第49号の2施設について、指定管理者を指定するもの。

辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更

福岡町小野及び五位地域における公共的施設の総合整備計画の内容変更に伴い、公営バス(花尾線)の車両更新等

を追加し、事業費を変更するもの。

農業委員会委員の過半数を認定農業者等又はこれらに準ずる者とするものについて

公募により委員を選定したところ、認定農業者等が過半数に達しないことから、認定農業者等に準ずる者を含め過半数を占めることとするもの。

公募により委員を選定したところ、認定農業者等が過半数に達しないことから、認定農業者等に準ずる者を含め過半数を占めることとするもの。

について、議会の同意を求めるもの。

人事

農業委員会委員

青木 紘氏(再任)
飯沼 清文氏(再任)
石王 純子氏(新任)
市野 良治氏(再任)
大巻 憲五氏(新任)
岡島 秋美氏(再任)
尾守 哲氏(新任)
尾崎 輝雄氏(新任)
北川 浩一氏(新任)
竹内 正一氏(新任)
武部 剛氏(再任)
藤森 章一氏(新任)
松之本 義博氏(再任)
宮崎 三郎氏(新任)
村上 祐氏(新任)
矢後 暁二氏(新任)
山田 正氏(新任)
山本 信治氏(新任)
吉田 彰氏(再任)

人権擁護委員

磯原 正浩氏(再任)
老子 裕子氏(新任)
坂本 雅則氏(新任)
藤井 宣秀氏(新任)
山崎 京子氏(再任)

討論要旨(発言順)

令和3年度予算―

日本共産党高岡市議団

《反対》

コミュニティバスが廃止され、交通弱者の交通権、移動権が奪われたままとなっており、迅速な救済対策を求める。地区連絡センターの運営を民間に委託することが予定されており、行政責任の後退が強く懸念されることから、計画の見直しを求める。マイナンバー制度は、多くの市民が情報漏洩や不正使用に不安を抱えており、制度の廃止・凍結を国に要請すべきである。五位中学校区統合小学校整備事業に5億4000万円が計上されているが、財政の健全性を保持するため、既存校舎の活用を検討すべきである。

国民健康保険事業会計については、国民健康保険事業財政調整基金を活用し、国保税の引き下げに踏み切るべきである。介護保険事業会計及び後期高齢者医療事業会計については、保険料の引き下げや負担軽減を強く求める。下水道事業会計については、下水道使用料の負担軽減のため、県内他市並みの努力を求める。

○自由民主党高岡市議会議員会

《賛成》

コロナ禍からの脱却に向けた「都市の強み」を活かした経済循環の回復や、次代を担う「ひとの育成」などに取り組むとともに、ポストコロナ

を見据えたデジタルトランスフォーメーションやSDGsなど、持続・発展可能な社会に向けた施策を盛り込むなど、その意気込みを反映した予算案と認識している。市民の安全・安心を守る施策・事業は最優先課題であり、新型コロナウイルスの感染収束が期待されるワクチン接種について、市民への丁寧な周知とともに、令和3年4月以降の体制を速やかに整備することを求める。また、財政健全化緊急プログラムの取り組みが着実に進み、財政の健全化に概ねめどを立てることができたことを我が会派では高く評価しているが、厳しい財政運営が今後も続くことから、緊張感をもって取り組むよう求める。引き続き、市政への監視と政策提言に努め、希望と活力に満ちた高岡の創造に尽力していく。

○自民同志会

《賛成》

新型コロナウイルス感染症の収束のために期待されるワクチン接種については、高齢者をはじめとする市民が円滑にワクチンを接種できるよう、丁寧な周知を求める。五位中学校区の統合小学校整備事業費や小中一貫校への事業費などが計上されているが、本市の教育環境は、平成17年の旧高岡市と旧福岡町の合併以後、

重要課題として議論され続け、新たな体制が方向付けられた。学校の枠組みの変化は、市民の高い関心事で有り、その推進には市長の強い信念があったものと受け止めている。引き続き財政健全化を目指しながら、中心市街地活性化対策の推進や諸課題の解決に向け、着実に取り組まれることを要望する。

○社民・立民議員団

《賛成》

市債の一般会計歳入に占める割合が9・5%となっており、これ以上、市民に対しての負担増とサービス削減を強いることは認められない。身の丈に合わない財政運営で財源不足に陥ったことが発端となった財政健全化緊急プログラムの実施が始まってから丸3年になるが、取り組みの一つである総人件費の圧縮については、5億円の削減目標が令和3年度当初予算までの累計で7億2千万円に達している。医療従事者をはじめ、コロナ禍で市民に寄り添う職員の努力に応えて臨時削減を終了することを求める。コロナ禍で疲弊、窮地に立たされている中小零細事業者や地場産業への支援をはじめ、雇用、教育、医療、福祉の充実の観点から、市民の声に寄り添う市政運営に当たるとともに、

市民がわくわくする高岡を目指し、魅力的で個性ある未来高岡へのまちづくりを推進していくことを要望する。

○公明党

《賛成》

次代を担うひとづくり施策や事業承継などで産業基盤を担うひとづくり、地域コミュニティの維持、活性化を担うひとづくりなど、一貫して「ひと」に光を当てた施策に取り組むことを高く評価する。一方で、本市の最重要課題の一つである財政健全化に向けては、財政健全化緊急プログラムに基づく着実な進捗を見せており、当初約40億円とされていた改善額を5・2億円にまで圧縮し、計画期間中の目標達成が見通せるところまできたことを嬉しく思う。また、将来の公共施設の整備、改修を見据え、市債の発行の抑制に活用する新たな基金である公共施設等整備改修基金積立金10億円を計上したことは、財政の健全化が着実に進んでいる証であると認識している。市政運営に当たっては、不安になりがちな市民の日常生活を支え、寄り添う姿勢をもちながら、未来の高岡に向け、取り組みを力強く推進するよう要望する。

議 決 結 果 一 覧 表（令和3年2月臨時会）

[議 案]

番 号	件 名	結 果
第 1 号	令和 2 年度高岡市一般会計補正予算（第 7 号）	可 決

[報 告]

番 号	件 名	結 果
第 1 号	専決処分の報告について （令和 2 年度高岡市一般会計補正予算（第 6 号））	承 認

議 決 結 果 一 覧 表（令和3年3月定例会）

[議 案]

番 号	件 名	結 果
第 2 号	令和 3 年度高岡市一般会計予算	可 決
第 3 号	令和 3 年度高岡市国民健康保険事業会計予算	
第 4 号	令和 3 年度高岡市荻布奨学金事業会計予算	
第 5 号	令和 3 年度高岡市駐車場事業会計予算	
第 6 号	令和 3 年度高岡市工業団地造成事業会計予算	
第 7 号	令和 3 年度高岡市介護保険事業会計予算	
第 8 号	令和 3 年度高岡市後期高齢者医療事業会計予算	
第 9 号	令和 3 年度高岡市高岡市民病院事業会計予算	
第10号	令和 3 年度高岡市水道事業会計予算	
第11号	令和 3 年度高岡市工業用水道事業会計予算	
第12号	令和 3 年度高岡市下水道事業会計予算	
第13号	市役所分庁舎の設置に関する条例及び総合行政センター設置条例を廃止する等の条例 「市役所分庁舎の設置に関する条例及び総合行政センター設置条例の廃止」 「防災行政無線施設条例の一部改正」	
第14号	市役所支所設置条例の一部改正	
第15号	附属機関に関する条例の一部改正	
第16号	副市長定数条例の一部改正	
第17号	職員定数条例の一部改正	
第18号	職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び職員の育児休業等に関する条例の一部改正	
第19号	職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正	
第20号	手数料条例の一部改正	
第21号	行政財産の使用料に関する条例及び国民健康保険条例の一部改正	
第22号	公共施設等整備改修基金条例	
第23号	ふるさと応援基金条例の一部改正	
第24号	土地開発基金条例の廃止	
第25号	重度心身障害者等医療費助成条例の一部改正	
第26号	国民健康保険税条例の一部改正	
第27号	介護保険条例の一部改正	
第28号	指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営の基準等に関する条例等の一部改正 「指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営の基準等に関する条例の一部改正」 「指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部改正」 「指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営の基準等に関する条例の一部改正」 「指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法の基準等に関する条例の一部改正」	
第29号	福岡町霊園条例 附則「福岡町霊園の設置及び管理に関する条例の廃止」 「福岡町霊園整備事業基金条例の一部改正」	

[議 案]

番 号	件 名	結 果
第30号	印鑑条例の一部改正	可 決
第31号	消費生活センターの組織及び運営等に関する条例の一部改正	
第32号	農村集落多目的共同利用施設条例の廃止	
第33号	福岡農業農村活性化農業構造改善施設条例及びとやま・ふくおか家族旅行村条例の廃止	
第34号	漁村センター条例の廃止	
第35号	創業者等支援施設条例の一部改正	
第36号	歴史的建築物の保存及び活用に関する条例	
第37号	市民会館条例の廃止	
第38号	二上まなび交流館条例の廃止	
第39号	五位山交流館条例の一部改正	
第40号	体育施設条例の一部改正	
第41号	消防本部及び消防署の設置等に関する条例及び消防長及び消防署長の資格を定める条例の一部を改正する条例	
第42号	火災予防条例の一部改正	
第43号	上下水道局企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正	
第44号	福岡町まちづくり条例を廃止する条例	
第45号	工事請負契約の変更 （下伏間江福田線立体交差整備その3工事）	
第46号	財産の譲与（建物）	
第47号	財産の無償貸付（建物及び土地）	
第48号	指定管理者の指定（高岡市木楽館）	
第49号	指定管理者の指定 （ふくおか総合文化センター（アリーナ及びフィットネスジムを除く。））	
第50号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更	
第51号	農業委員会委員の過半数を認定農業者等又はこれらに準ずる者とする事	
第52号	令和 2 年度高岡市一般会計補正予算（第 8 号）	
第53号	令和 2 年度高岡市国民健康保険事業会計補正予算（第 4 号）	
第54号	令和 2 年度高岡市駐車場事業会計補正予算（第 1 号）	
第55号	令和 2 年度高岡市工業団地造成事業会計補正予算（第 2 号）	
第56号	令和 2 年度高岡市介護保険事業会計補正予算（第 3 号）	
第57号	令和 2 年度高岡市後期高齢者医療事業会計補正予算（第 2 号）	
第58号	令和 2 年度高岡市高岡市民病院事業会計補正予算（第 4 号）	
第59号	令和 2 年度高岡市水道事業会計補正予算（第 3 号）	
第60号～78号	農業委員会の委員の任命について同意を求める件	同 意
第79号～83号	人権擁護委員の推薦について意見を求める件	

[議員提出議案]

番 号	件 名	結 果
第 1 号	議会委員会条例の一部改正	可 決
第 2 号	議会会議規則の一部改正	

[議員別賛否一覧]（賛否が分かれた議案等のみ）

○…賛成

×…反対

―…欠席

※…議長は決決に加わりません。

議員名	高瀬	角田	筏井	林	山口	石須	本田	中村	高岡	酒井	横田	上田	吉田健太郎	曾田	数中	中川加津代	坂林	福井	金平	樋詰	水口	大井	金森	狩野	高畠	畠
議案番号	充子	悠紀	哲治	貴文	泰祐	大雄	利麻	清志	宏和	善広	誠二	武	太郎	康司	一夫	永喜	直樹	直樹	直己	和子	清志	正樹	一郎	安郎	義一	起也
議案 第 2 号	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	×	○	○	○	○	○	○	○
議案 第 3 号	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	×	○	○	○	○	○	○	○
議案 第 7 号	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	×	○	○	○	○	○	○	○
議案 第 8 号	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	×	○	○	○	○	○	○	○
議案 第12号	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	×	○	○	○	○	○	○	○
議案 第20号	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	×	○	○	○	○	○	○	○
議案 第27号	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	×	○	○	○	○	○	○	○
議案 第28号	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	×	○	○	○	○	○	○	○

代表質問

今定例会では、自由民主党高岡市議会議員会の代表が市政全般にわたり質問しました。主な質問と答弁の要旨をお知らせします。



自由民主党
高岡市議会議員
狩野 安郎

新型コロナへの対応

問 感染対策の決め手となるワクチン接種について、2月臨時会からの時点修正を含む、現在の方針は。

市長 個別接種は、3月1日時点で市内88医療機関、1週間あたり約8千回の接種の協力が得られる見通しである。



新型コロナワクチン接種の様子

集団接種は、ワクチン供給時期、供給量に応じて実施できるように調整中である。また、ワクチンの移送には、医薬品卸業者への委託に向けて協議中である。65歳以上の高齢者への接種券は、3月下旬の県内同時期の発送を目的に準備を進めている。さらに、ワクチン接種を巡る市民からの質問や問い合わせに応じるコールセンターを接種券発送に先立って3月中旬に稼働させた。接種については完全予約制とし、コールセンターへの電話のほか、ウェブサイト等で予約できる仕組みを構築している。ワクチンの十分な確保を前提に、様々な課題も予想されるが、医療機関をはじめとする関係機関と連携し、円滑かつ確実に実施したい。

雪に強いまちに向けて

問 学校施設や通学路等の除雪、また本市の除排雪施策の市民周知など、次の大雪に備えるためにも早急に対策を進めるべきと考えるが、見解は。

市長 1月の大雪の際には、

記録的な積雪により、幹線道路等において、立ち往生や通行止め事案が発生した。また、通学路の除排雪に時間を要し、安全確保が困難となったことから、やむなく休校も余儀なくされることとなり、市民生活に大きな影響をもたらした。早期の学校再開には、地域住民の尽力があったと考えている。今後、市民等の意見も踏まえ、今回の大雪に対する課題検証を行い、国・県等とも連携を図りながら、日中の除雪を含めた大雪時における対策マニュアルを策定するほか、ツイッター等のSNSを活用し、市民にわかりやすい道路情報の発信に努めたい。

令和3年度当初予算

問 新年度予算にかける市長の想いは。また、その特徴は。

市長 令和3年度の当初予算は、ポストコロナ時代の到来を見据え、「時代を拓く変革予算」として、3期12年の集大成との想いで編成した。これまで「都市の強み」と「まちの魅力」の向上に全力を挙げ

てきた。今後は、これらを活かす「ひとの力」を育むことに注力し、地方創生の実を上げることが重要と考えている。予算の特徴は、1つ目に「新しいステージに対応する予算」として新たな時代の潮流を取り込み、未来につながる高岡新機軸事業等を通じ、社会変革に対応する。2つ目に「創造の予算」として人口減少や施設の老朽化が進む中、学校再編や地域活動の活性化などを通じ、市民の活動に新たな価値を創造し、持続可能な社会を目指す。3つ目に「財政の健全化」として財政健全化緊急プログラムに基づき改革を進めた結果、概ね目標の達成に目途をつけることができた。さらに、令和3年度から始まる各種計画に基づく事業を盛り込み、「次世代から共感を得られるまちづくり」を目指し、第4次総合計画につながる予算案として編成できた。

まち・ひと・しごと創生

問 地域資源の活用を図るなど、まちの活力及び魅力を一層高めるための考えは。

市長政策部長 本市では、万葉や加賀前田家ゆかりの歴史・文化、ものづくりの伝統に代表される魅力ある資源の

再発見と磨き上げを重ねてきた。令和3年度から始まる第2期歴史まちづくり計画では、越中国府関連遺跡、氣多神社、二上山丘陵にみる歴史的風致が加わる。これまでの近世から近代における歴史や伝統を基本とした取り組みに加え、古代からの歴史的資産が集中している市北部地域への取り組みを強化・再構築し、計画的に観光資源としての活用を図ることで歴史都市の魅力をさらに高めたい。

持続的発展への成長政策

問 デジタル強^{きょうじん}化の一層の推進が必要だが、今後の方針は。

市長 本市では、令和3年度、新たに情報政策課を設置するとともに、市長を本部長とするDX推進本部体制を整える。今後は、中・長期的視点に立ち、様々な分野の垣根を越えて官民が互いの知見を活かし、データを共有・利活用することが新たな価値やサービスの創造につながるものと考えている。これを踏まえ、3年度に予定の「情報化推進基本方針・アクションプラン」の見直しの中で、国のDX推進施策の展開と連動した取り組み等の具体化を図りたい。

一般質問

（一括質問・一括答弁）

今定例会では、11人が市政全般にわたり一括質問・一括答弁方式で質問しました。本会議での質問順に、主な質問と答弁の要旨をお知らせします。



林 貴文
自由民主党
高岡市議会議員

勝興寺周辺の賑わい創出

問 勝興寺周辺におけるARの活用について、具体的な内容と実施スケジュールは。

都市創造部長 勝興寺の平成の大修理完了を記念し、伏木地区ストリート構想のサブプロジェクトの1つを楽しく散策できるように、ARを活用した「高岡ふしき発見」を企画した。

企画内容は、勝興寺、気象資料館、寺井の井戸、古府八幡社などを巡るルートを案内したパンフレットを持って散策してもらうものである。あらかじめ専用のアプリをダウンロードしたスマートフォンをパンフレットにかざすと歴史的背景や当時の風景写真などの紹介動画を楽しむことができる。また、動画の最後のクイズに解答しクロスワードパズルを完成させると景品と交換できる。この企画は4月の伏木観光まつりにあわせて実

施する。

二上山万葉ラインの活用

問 サイクリストやランナーのための給水機能を確保するため、鉢伏園地に自動販売機を設置しては。

都市創造部長 二上山万葉ラインは、ドライブやランニングなど様々な目的で多くの方に利用いただいている。特に鉢伏園地は、富山湾や立山連峰を望むビューポイントで、平和の鐘やトイレがあること



鉢伏園地にある平和の鐘

から多くの方が訪れる場所である。当園地には、かつて売店があり、自動販売機も設けられていたが、売店閉店と同時に撤去された。また、管理人が常駐していないこと、二上山万葉ラインが冬期通行止めになることも踏まえ、当園地の利用実態を調査したうえで、自動販売機の設置について検討したい。



金平 直巳
日本共産党高岡市議員

ワクチン接種への対応

問 新型コロナウイルスのワクチン接種の安全性や有効性、副反応などのリスクについて、迅速で徹底的な情報提供を。

福祉保健部長 ワクチンは、安全性や有効性について十分理解した上で接種いただくことが重要であるが、新型コロナウイルスに関する知見は限られており、今後十分な周知啓発が必要である。予防接種は最終的には個人の判断で行われるものであることから、

リスクとベネフィットを総合的に勘案し、接種の判断ができるよう、本市においても引き続き国への情報収集に努め、得られた情報については、迅速に市民に提供したい。

介護保険料の負担軽減

問 コロナ禍の下での市民生活を守るため、介護保険料の引き上げ計画を中止すべきでは。

福祉保健部長 本市では、かねてより介護保険財政の持続的かつ安定的な運営のため、将来にわたって自治体の財政負担や被保険者の保険料負担が過重にならないよう国庫負担割合の引き上げについて全市市長会を通じて要望している。また、保険料の上昇を抑制するため、令和3年度から5年度までの第8期介護保険事業計画期間において、介護給付費準備基金1億5千万円を取り崩すこととしている。第8期計画では、介護サービス受給者の増加に伴う介護サービス量の増大や介護サービス基盤の拡充、介護報酬の改定などにより介護給付費の増加を見込んでいる。また、現在の第7期計画において介護給付費準備基金を最大限活用し、介護保険料を第6期計画から2期6年間同額に据え置

いたことから、今回の第8期計画での介護保険料の上昇は避けられないと考えている。



中村 清志
自由民主党
高岡市議会議員

橋梁長寿命化修繕計画

問 高岡市橋梁長寿命化修繕計画の改定版が策定されたが、それに沿った今後の進め方は。

都市創造部長 橋梁長寿命化修繕計画は、本市が管理する橋長2メートル以上の橋梁について、5年に1度の定期点検の結果を受け、橋を健全な状態で長く使い続けられるよう修繕の計画を定めたものである。本計画においては、早めに修繕を実施すべき状態と診断された橋梁については、概ね5年以内に修繕を行うこととしている。修繕を行う際には、健全性や重要性、地域性、経済性などの視点により優先順位を定め、橋梁の統廃合も検討のうえ実施することとしている。なお、これまで健全と診断されている橋梁についても定期点検を実施して、適正な維持管理に努めたい。

不登校児童生徒の学び

問 不登校児童生徒が自宅に

においてICT等を活用した学習を行った場合の出席の取扱いについて、見解は。

教育長 近年、人々の多様性が認められる社会になりつつある中、国においては、子どもたちの将来の社会的な自立に向け、不登校の子どもたちに対する支援についても柔軟な指導を認める方向を示している。本市では、令和3年度から、学校外の民間のフリースクール等で活動している場合や、自宅でICT等を活用して学習を行っている場合など、学校長が状況を把握しうえて、指導要録において出席扱いとすることとした。また、昨年の学校の臨時休業中に、中学3年生を対象として実施したオンラインの学級会では、不登校の生徒が参加できたとの事例も聞いており、ICTの活用も含め、子どもたちの多様な学びを支援したい。



酒井 善広

自由民主党
高岡市議会議員

バス存続に向けた意識醸成

岡 市内公共交通における、都心エリアと周辺市街地エリアを結ぶ路線の強化には、鉄

軌道の他、バス路線も重要と考えるが、バス路線を維持・存続するための具体策は。

市長政策部長 バス路線の維持のためには、沿線地域の皆様に公共交通を積極的に利用するという意識を持つていただくことが最も重要になる。石堤地区では、石堤線維持対策協議会を組織し、老人クラブや児童クラブでの活用をはじめ、地域の路線バスの利用促進に取り組まれている。また、中田地区でも済生会・中田団地線の利用促進事業に取り組まれている。このような活動は、地域と交通事業者との連携、地域のバス路線維持に向けた推進力となる。本市としてもこのような活動を支



バス路線の維持・存続に向けて

援し、出前講座などを通じ地域が公共交通を守り育てるマインドを醸成に取り組みたい。

棚田地域の振興

岡 棚田地域振興法により、3地域が指定棚田地域に指定されたが、今後の事業展開は。
産業振興部長 本市では、現時点で五位山、石堤、般若野の3地域が指定棚田地域として国の指定を受けている。この指定地域内で棚田を有する10集落のうち、沢川、山川、下山田、東保新の4集落では、棚田を活用した都市住民との交流、収穫体験などを自ら企画し、その内容を盛り込んだ指定棚田地域振興活動計画について、国から認定を受けた。今後、この活動計画に基づき、各地域における農産物の活用など、特色を生かし、事業が展開される。まずは国・県の交付金を活用しながら、この4集落の活動を支援したい。残りの6集落に対しても、先行する集落の活動事例の情報提供や計画の策定支援などにより、活動が一層充実するよう取り組むたい。



上田 武

社民・立民議員団

新型コロナウイルス接種

岡 妊婦や基礎疾患のある方等、不安を抱える市民にワクチンの有効性や副反応等の情報をどのように周知していくのか。

福祉保健部長 新型コロナウイルスはこれまでのワクチンとは違う方法で製造されており、安全性や有効性に関する知見も他の感染症に対するワクチンに比べて限られている。また、妊婦の方は努力義務が課されないことや基礎疾患のある方が優先的に接種できる等、これまでの予防接種とは異なっている。ワクチン接種は治療目的ではないことや、安全性、有効性及び副反応についても十分理解いただくため、不安を抱える市民の方にワクチンの正しい情報を広報紙やホームページ、SNSなどを活用し速やかに発信したい。

今冬の除雪対策について

岡 延長約2.1キロの直線道路、通称「角街道」においては、除排雪に3日間かかり、

住民から苦情の声もあったが、融雪装置を整備しては。

都市創造部長 市道中川1丁目能町線、通称「角街道」は、本市の補助幹線道路である。道路幅員が狭い上、交通量も多く、近年は住宅が連坦し、沿線の土地利用が変化してきたことにより、雪の仮置きする場所も少なくなったことから、大雪となる毎に除排雪や圧雪処理に多くの時間を要している。さらに、一部の区間は、小・中学校の通学路に指定されており、日中の排雪においては、児童生徒への危険を伴うことが懸念されていた。このようなことから、消雪設備の設置については検討したい。



筏井 哲治

自由民主党
高岡市議会議員

本市におけるDXの推進

岡 情報政策課の設置に込めた思いは。

市長 情報政策課の設置によりポストコロナ社会を見据え、リモートの行動様式や非接触型社会への転換を図り、デジタル技術の活用を推進することを通じて、行政事務の効率化や行政サービスの質の向上

を図るとともに、地域の情報化を先導する役割を強化したい。あわせて、全庁的な推進体制を充実・強化するため、市長を本部長とするDX推進本部を設けることとする。また、令和3年度においては、AI音声認識技術の導入による会議等の議事録作成業務の効率化などの取り組みを進めるとともに、「情報化推進基本方針・アクションプラン」の見直しの中で、本市のDX推進について、実効性のある取り組みを計画的、体系的に示したい。

スマートフォンの利用促進

副 高齢者のスマートフォン
の習熟度向上に向けて、現状と今後の取り組みは。

市長政策部長 本市では、市立公民館においてスマートフォン講座を実施し、地域の高齢者の方々を中心に利用いただいている。近年、自治会をはじめ地域の様々なコミュニティにおいて、閲覧板やお知らせなどに代えて、アプリの活用が広がってきており、高齢者へのスマートフォンの普及・利活用が地域コミュニティの円滑な運営や活性化にもつながっていくものと考えている。今後、地域において高齢者のスマートフォン等の利

活用を広げていくリーダー的人材の育成等も意識しながら、開催回数や講座内容の充実を図るなど、誰も取り残されることのない社会の実現に向けた支援に取り組みたい。



高岡 宏和
自由民主党
高岡市議会議員

アルミ水素循環技術

副 本市の地域特性と環境に
も有利な点を踏まえ、水素を製造するにあたり二酸化炭素をまったく排出しないアルミ水素循環技術を新たなビジネスモデルとして積極的に取り組んでいくべきと考えるが、見解は。

市民生活部長 アルミ産業が最大産業のひとつである本市において、アルミから水素を取り出して活用する「アルミ水素循環技術」については、循環型社会の構築にもつながり、本市の持つ地域特性を活かすことが期待できるものである。今後、このような脱炭素社会の実現に寄与する可能性がある技術については、どのようなビジネスモデルを構築できるか関係部局と連携し、検討したい。

自治会への交付金制度

副 自治会では地域によって
異なる様々な課題を抱えていることから、自治会組織等の活性化と自らのまちづくりを推進するため、各自治会が自由に使うことのできる交付金制度を創設してはと考えるが、見解は。

市民生活部長 本市では、地域に対し、課題解決の取り組みへの支援のため、目的別、事業別に各種補助金を交付している。補助の条件や、対象団体、対象エリアなど様々であり、中には類似の事業が見受けられる。他自治体では、住民が主体となって地域課題を解決するために弾力的な使用が可能となるよう、各種補助金を集約し、一括で交付する制度を創設している事例もあることから、地域の主体性を高めるよう図っていくとともに、先行事例の調査、研究を進めたい。



中川 加津代
自由民主党
高岡市議会議員

市独自の産後の支援を

副 家事代行の支援を、産後
うつ、ワンオペ育児の解消の



家事代行サービスの支援対象者拡充を

ためだけでなく、就園前の乳幼児を育児している母親まで、支援対象者を拡充しては。

福祉保健部長 産後ヘルパー派遣事業は、産後の母体が一番つらい時期である産後2か月以内の母親の負担を軽減することを目的に、県と連携し、家事サポートのヘルパーを派遣する事業である。本事業は、まずは出産直後の最も負担の大きい時期の母親を支援対象とすべきと考えている。ニーズが大きければ、県に事業の拡大を求めたいが、対象者を就園前の乳幼児の母親までとすることは予定していない。

中高一貫校の設立を

副 中学生の進路選択の多様
化が進み、高校再編も進むこ
とで、高岡・富山・砺波・新

川それぞれの圏域を越えて進学する生徒が増えているが、新たな魅力ある進路の選択肢として、将来的に公立中高一貫校を設立してはと考えるが、見解は。

教育長 かねてから受験競争の低年齢化を招く懸念があり、小学生を対象とした入学者選抜には十分な配慮が必要とされてきた。また、中学校段階から、優秀な生徒を特定の学校に集めることになり、通常の公立中学校との学力格差が大きくなることが予想される。ただし、富山地区には私立の中高一貫校や定員160人の富山大学人間発達科学部附属中学校がある。一方で、県西部には同様の学校がなく、児童生徒や保護者の学校の選択幅を広げる工夫が必要と考えている。中高一貫校の設置が、本市や県西部の各小中学校にどのような影響を及ぼすかについては、しっかりと検討を重ねる必要がある。



曾田 康司
自民同志会

小中一貫教育の推進

副 義務教育学校として開校
した、国吉義務教育学校の成

果と今後の期待は。

教育長 県内初の義務教育学校として、地域特性を活かした活動と9年間で特色ある教育を展開している。例えば、前期課程（小学校）の1年生から英語活動に取り組み、高学年では遠隔システムを活用し台湾の中学生と交流事業を行っており、コミュニケーション能力の向上が図られている。また、周辺の自然や伝統文化を教材に地域学習を行う「ふるさと未来科」の開設のほか、5、6年生は理科、英語科、音楽科で後期課程（中学校）教員による授業を実施し、学びの意欲、関心が高まっている。さらに、学校行事等で異学年交流を行う中で、思いやりの心の育成や児童生徒の責任感の高まりなどの成果がみられる。今後も小中一貫教育の推進校として、高岡市立学校全体の教育充実を図る先導的な役割を果たすことを期待する。

これからの部活動について

部活動改革 についての今後の考え方は。

教育長 学校部活動は生徒の心身の成長や仲間づくり、アスリートの育成など、生徒の健全育成、夢や希望の実現に大きく寄与してきた。文部科

学省は、令和5年度以降、休日の部活動を段階的に地域へ移行するとしている。現在、小学生が加入するスポーツ少年団から中学校、高校の部活動へと発達段階に応じた計画的、継続的な指導を実現できるように、地域ぐるみで子どもの成長を支える高岡モデル構築に向け検討を重ねている。本市では、令和3年度に部活動の地域移行に向けた検討会議を設け協議していく。今後、高岡西部中学校区及び国吉中学校区において実践研究を進めたい。



石須 大雄
社民・立民議員団

勝興寺の魅力発信

勝興寺について、竣工の年である令和3年は、どのようにに勝興寺の魅力を発信していくのか。

教育長 勝興寺の宝物展や伽藍の建築的な魅力を探るフォーラムを開催するほか、夏頃からは、2カ月以上に渡って、現代工芸作品の展覧会「GOFOR KOGEI展」を開催予定である。さらに、令和3年度は、第2期の歴史まちづくり計画がスタートし、古



勝興寺の魅力発信

どのような想いを込めて取り組んだのか。

市長 令和3年度の当初予算では、新たな時代の潮流を取り込む「ポストコロナ時代の『未来につながる高岡新機軸』事業」を通じて、ポストコロナ時代の新しい日常、社会変革などに対応することとしている。また、地域資産・資源を創造的に活かす取り組みを通じて、市民や地域の活動が新たな価値の創造や持続可能な社会の構築につながることを目指していく。これらに加えて、令和3年度から始まる各種計画に基づき、「持続可能な社会の実現」や「ひとづくり」の視点を取り込んだ新たな事業を盛り込んだことにより、第4次総合計画の視点となる「次世代から共感を得られるまちづくり」への足掛かりとして、次へつながる予算案になったと考えている。



高瀬 充子
日本共産党高岡市議団

ごみ問題を学ぶ

ごみ問題について、学校教育での取り組み状況は。

教育長 海に近い太田小学校では、かねてから漂着物調査

に協力し、海洋ごみの実態について理解を深めており、調査主体の環日本海環境協力センターの職員の方々とも意見交換を行っている。成美小学校では、ユネスコスクールの加盟認定を受けるとともに、持続可能な開発のための教育の視点を意識した教育に重点的に取り組んでいる。小学校4年生の社会科では、ごみの減量化について学んでおり、6年生の家庭科では、「持続可能な社会を生きる」SDGsの視点と関連付けて環境に配慮した生活が続けるためのアイデアを出し合い、エコバッグ製作等に取り組む学習を行っている。

コロナ禍での消費税の減税

富裕層と大企業に応分の負担を求めて財源を確保し、消費税を減税することを国に求めている。

市長 消費税をめぐる税制改革については、税率も含め、これまで長い年月をかけ今日の制度に至っており、所得、資産、消費のバランスが取れた税制実現のためにも消費税は必要と考える。一方、現在、国や県、市等が丸となって、新型コロナウイルス感染症の拡大により影響を受けている地域経済の回復や雇用の確保

に取り組んでいる。新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した事業者に対する融資制度の拡充や納税猶予による資金繰りの支援、雇用調整助成金の拡充等による雇用の維持等、幅広い支援を

実施している。地域の実態に応じ、地方自治体がコロナ禍において、適切に対応できる必要な財源が確保されるよう全国市長会などを通じ、国に要望したい。



一般質問 (一問一答)

今定例会では、4人が市政全般にわたり、一問一答方式で質問しました。本会議での質問順に、主な質問と答弁の要旨をお知らせします。



角田 悠紀
自由民主党
高岡市議会議員

稼働力の推進について

問 ふるさと納税の令和2年度の寄附実績額は。

市長政策部長 近年の傾向では、特産品返礼型に移行した平成27年度以降は、3千万円前後から5千万円弱の幅で推移しており、寄附受付に関するサイトの充実等を図った令和元年度は約1億6千7百万円と実績を大きく伸ばした。また、新型コロナウイルス対策の寄附メニューの新設、ふるさと納税掲載サイトの拡大、伝統工芸品など高岡ならではの

の返礼品の拡充を図った結果、令和2年度の寄附実績額は、1月末時点で約3億2千万円である。コロナ禍にあつて、ふるさとを応援したいという方々の思いとの相乗効果を生み、過去最高の寄附額につながったと考えている。

学校再編計画について

問 少子化の現状を鑑みれば、現在の10年計画に追加していく形で、常に10年先を見据えた次の計画を検討すべきと考えるが、見解は。

教育長 今回の計画で、対象としなかった校区においても在籍児童生徒が直近のピーク時から大きく減少している学校がある。また、規模的に小規模な学校も複数ある。現計



教育将来構想検討会議の様子

画では、再編対象としていない中学校区においても課題があることは把握している。今後の状況によるが、さらなる

高岡市民会館の今後の方針



本田 利麻
麻の会

計画についてもいずれ検討が必要になるものと考えている。

問 高岡市民会館について問う。

(1)令和2年3月定例会において、市民会館の改修、解体に係る工事費の積算状況についての質問に対し、「市民会館に対して改修、解体いずれかの工事を行うとしても、その工法については史跡の保全を考慮する必要があるため、工事費の積算については、文化庁との今後の協議を踏まえて、工法などがある程度確定した段階で行う予定である。」との答弁があった。その後、令和2年12月に改修費の積算額として35億円を示されたということは、文化庁との協議が終了したものとして解釈するが、この間の文化庁との協議内容及びその結果は。

(2)本市の現在の財政状況を考えると民間による資金調達により財政支出の平準化や民間ノウハウによるコスト削減が期待できるPFI(プライベート・ファイナンス・イニシ

アティブ)手法によって新しい市民会館を整備するのが一番現実的であると考えているが、見解は。

市長政策部長 (1)文化庁には、史跡内施設の改修、解体に係る工事内容や工法について相談、協議を行った。文化庁からは、市民会館の立地状況を踏まえた留意事項、掘削を伴う工事を行う場合の事前協議、改修、解体に伴う文化財保護法上の手続き等について、話を伺った。

市長 (2)市民会館も含め、大型公共施設の整備については、その要否、緊急性や事業規模、手法等について、市の財政状況等も踏まえ、中長期的、総合的に検討したい。



山口 泰祐
自由民主党
高岡市議会議員

歴史文化遺産の活用

問 勝興寺に所蔵される文化財を活用すべきと考えるが、見解は。

教育長 勝興寺は、地方の浄土真宗寺院としては例のないほど、貴重な宝物を多数所有している。そのうち、前田家や公家などからの婚礼道具としての工芸品や絵画、彫刻な

議会報告会 YouTube配信のお知らせ

本市議会では、本会議や各委員会でのような議論がなされたのか、議員が市民の皆さまへお伝えします。

コロナ禍であり、YouTubeでの録画配信を試みます。

詳しい日時等の内容は、市広報紙やホームページで近日中にお知らせします。

議会日誌

12月定例会後～3月定例会前

- 12月18日 広報広聴委員会
- 1月 7日 広報広聴委員会
- 22日 代表者会議
- 28日 広報広聴委員会
- 2月 1日 民生病院常任委員会
- 8日 総務文教常任委員会
- 9日 産業建設常任委員会
- 12日 代表者会議
議員説明会
- 15日 議会運営委員会
- 17日 議員協議会
本会議(議案など議決等)
- 民生病院常任委員会
- 産業建設常任委員会
- 総務文教常任委員会
- 19日 議会運営委員会
- 24日 正副常任委員長会議

3月定例会

- 3月 1日 議員協議会
本会議(提案理由説明)
議案説明会
- 2日 議案説明会
本会議(追加提案理由説明)
議案説明会
- 4日 本会議(代表質問)
- 9日 本会議(一般質問(一括))
- 10日 本会議(一般質問(一括))
- 15日 本会議(一般質問(一問一答))
代表者会議
- 16日 民生病院常任委員会
- 18日 代表者会議
産業建設常任委員会
- 22日 議会運営委員会
総務文教常任委員会
- 24日 委員長会議
議会運営委員会
議員協議会
本会議(議案など議決)

観光産業の復興

ど県指定文化財となつて宝物が236点もある。今回の竣工を記念し、令和3年に勝興寺において宝物展を開催することになっているほか、文化庁や県にもアドバイスもらい、石川県に移転した国立工芸館や成巽閣などとの連携も視野に入れながら、当寺院の魅力をあらゆる角度から発信したい。

副 市長 コロナ禍で疲弊した観光産業復興のための本市の役割は。

市長 コロナ禍が本市の飲食業や宿泊業などに与える影響は甚大なものであると認識している。このため、今般策定



吉田 健太郎
公明党

総合計画(第4次基本計画)

副 市長 次の世代から共感される計画とするためには、どのように計画策定に取り組むのか。

する次の観光振興ビジョンに基づき、コロナ禍の状況も踏まえ、観光を支える「ひと」に着目した量から質への転換を図ることができるよう、観光需要の喚起や事業者支援を実施し、未来につながる新たな観光のステージを目指して取り組むことで市の役割を果たしたい。

困り事丸ごと

副 市長 地域福祉の推進のため、「断らない相談窓口」の実施で、多様な課題の受け皿を構築すべきと考えるが、見解は。

市長 今を生きる私たちだけでなく、次世代の市民が自分らしく活躍し、安心して住み続けたいと感じられる地域社会を築くことが重要である。このため、総合計画の各施策の検討にあたり、次代を担う若者を中心とする市民の意見を政策に取り入れるとともに、Society 5.0の実現に向けた次世代技術の活用やSDGsの推進などにより、時代に応じた変革に取り組むたい。

福祉保健部長

近年、一つの世帯で介護や育児、心の病や生活困窮など複数の課題を抱える事例が増えている。今後、相談者が自ら相談内容を整理して、それぞれの制度の窓口で適切に相談することは難しいと考える。このため、本市においては、窓口関係相互の定期的な情報共有や連携シートの作成・活用などにより、相談を受けた窓口で困り事を丸ごと受け止められるよう、庁内の体制づくりを進めたい。また、その相談のうち、課題が複雑・複合化している事例については、4月から社会福祉課内に設置する福祉連携推進室において、支援の方向性や関係課の役割分担などの調

整を行うほか、国・県の専門機関や民間の支援団体など多様な機関との連携を図りながら、必要な支援が抜け落ちることのないよう、受け皿を構築したい。



4月から設置された福祉連携推進室

委員会の動き

3常任委員会では、当局の考えを聞き、付託議案の審査を行いました。委員からの主な質疑は次のとおりです。

○総務文教常任委員会

◆図書館費には、館内のWi・Fi環境整備に係る経費は含まれているのか。

◆庁舎施設管理委託費について、PCB廃棄物の処分経費が含まれているとのことであるが、公共施設におけるPCB廃棄物は令和3年度に全て処分することになるのか。

◆美術館管理事業費について、令和3年度に開催する高岡市美術館創立70周年記念事業の周知方法は。



美術館創立70周年記念事業の開催

○民生病院常任委員会

◆個人番号カード交付事業費補助金について、マイナポイント等の施策により、マイナンバーカードの取得率が高まったと考えるが、本市の取得率は。

○産業建設常任委員会

◆スマート農業普及対策事業

◆あつまり総合サポート推進事業費について、新たに設ける福祉連携推進室に配置する相談員にどのような役割を期待しているのか。

◆埋立処分場管理事業費について、埋立処分場を委託することで費用が約3900万円増額する一方、職員給与費が約5900万円の減額になっているという説明があった。

◆国民健康保険事業会計について、第3子の均等割の減免を実施すべきと考えるが、見解は。

◆道路橋りょう費について、本市は、中心市街地を中心に東西南北にまちが発展しているが、どのように道路整備を進めていくのか。

◆手数料条例の一部改正について、安全な住宅の供給が確保されるために今後どのように取り組むのか。

費について、本市でもスマート農業をしつかりと普及すべきと考えるが、見解は。

◆企業立地推進事業費について、本市にとって、アルミは特産産業の一つであり、アルミを用いた技術開発に取り組み既存企業に関連する企業や、新素材の研究施設等の誘致も視野に入れ、新たな産業団地の候補地を検討すべきと考えるが、見解は。

◆道路橋りょう費について、本市は、中心市街地を中心に東西南北にまちが発展しているが、どのように道路整備を進めていくのか。

◆手数料条例の一部改正について、安全な住宅の供給が確保されるために今後どのように取り組むのか。

6月定例会の予定

6月定例会は、下記のとおり開催される予定です。

なお、日時等は、5月28日開催予定の議会運営委員会で決定されます。

7日 ㊦	10時	議員協議会
	13時	本会議 (提案理由説明)
11日 ㊦	9時	議会運営委員会
	10時	本会議 (一般質問(一括))
14日 ㊦	10時	本会議 (一般質問(一括))
15日 ㊦	10時	本会議 (一般質問(一括)予備日)
16日 ㊦	9時	代表者会議
	10時	民生病院常任委員会
	13時	産業建設常任委員会
17日 ㊦	10時	議会運営委員会
	13時	総務文教常任委員会
22日 ㊦	9時30分	委員長会議
	10時	議会運営委員会
	11時	議員協議会
	13時	本会議 (議案など議決)

♣ 詳しい内容については、高岡市議会事務局(☎20-1531)までお問い合わせください。

市議会の傍聴

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、傍聴者の人数を、本会議は17名(うち車椅子利用者は5名)まで、委員会は3名までに制限しています。傍聴される際は、**マスクの着用**をお願いいたします。

12月定例会以降の傍聴者総数

定例会	本会議	委員会
令和3年1月	—	—
3年2月	0人	0人
3年3月	52人	0人

編集後記

高岡市議会今次3月定例会で審議された新年度当初予算は、2月の臨時議会で可決された、新型コロナウイルスワクチン接種事業費などを含む補正予算と合わせて、年度をまたいでスムーズな予算執行ができる「15か月予算」として可決、成立いたしました。

この間、本会議や各常任委員会の審議の間では、各議員からコロナ禍におけるより効果的な各種支援の在り方や、コロナを乗り越えた後の地域経済の復興に向けた取り組みについて、さらにはSDGsなど新たな時代の潮流をとらえた未来高岡の構築に向けてなど、活発な議論が展開されました。

今議会はペーパーレス化を図るため、タブレットを活用した審議を試みた初の定例会ともなりました。

目まぐるしく変化する社会環境の中だからこそ、より市民に寄り添う市政を目指し、議員一同、一層努めてまいります。
(吉田 記)

★編集委員

◎横田 ○高岡

高瀬、角田、山口、石須
酒井、吉田、中川、水口

(◎委員長 ○副委員長)